

2010.09

J Aバンク福井県信連

R e p o r t



福井県信用農業協同組合連合会

目 次

1. 地域貢献に関する取り組み・・・・・・・・・・ 1
2. 不良債権の状況・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 単体自己資本比率・・・・・・・・・・・・・・ 3
4. 主要勘定の状況・・・・・・・・・・・・・・ 4
5. 有価証券時価情報・・・・・・・・・・・・・・ 4

表紙の写真

コウノトリ『えっちゃん』：(越前市)

国の天然記念物コウノトリが40年ぶりに福井県内に数羽飛来しました。特に、えっちゃんは、4月1日から7月16日までの107日間という長期にわたり越前市南部地域を中心に滞在していました。越前市では、昨年からは無農薬・減農薬の「コウノトリを呼び戻す農法」に取り組んでいるさなかの出来ごとに、古里を大切に守っている住民たちへの勲章だと歓迎しています。

当会は、福井県を事業区域として、地元のＪＡ等が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会の資金は、その大半が県内のＪＡにお預けいただいた農家組合員および地域の皆さまの大切な財産である貯金を源泉としております。当会では、資金を必要とする農家組合員の皆さま方や、ＪＡ・農業に関連する企業・団体および県内の地場企業や団体、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当会は、農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、ＪＡとの強い絆とネットワークを形成することによりＪＡ信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めております。

また、金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

当会は、協同組合の相互扶助の精神を大切にし、以下のような地域貢献活動を実施しております。

1. 文化的・社会的貢献活動

- (1) 福井県と経済団体が設立した「ふくいウェルフェア事業実行委員会」が取り組む、少子化対策支援事業『カード優待割引事業(2010スマイルFカード)』の趣旨に賛同し、福井県ＪＡバンクもサポーター企業として参加しております。
- (2) 多くの方々との交流を通じ、地域文化の振興と地域社会の活性化を実現するため、第24回ＪＡバンク「家族を描こう」コンクール、福井フェニックスまつり『YOSAKOI イッチョライ』特別協賛など、幅広い年代の皆さまに参加いただけるイベントを開催しております。

2. 各種相談会の開催

年金相談会、住宅ローン相談会、税務相談会などを開催し、地域の皆さまの相談にお答えし、また、お役に立つ情報をお伝えしております。

3. 環境配慮活動

- (1) 地球温暖化ストップ県民活動「LOVE・アース・ふくい」の趣旨に賛同し、クールビズ・休み時間の消灯等身近なところからの取り組みを実施しております。
- (2) 「グリーン購入ふくいネット」に会員登録し、環境負荷の少ない物品等を優先的に選択する取り組みを実施しております。
- (3) 行政・県民が一体となり、県下一斉に環境美化活動を行う「クリーンアップ大作戦」に積極的に参加しております。

不良債権の状況(単体)

(1) リスク管理債権

(単位：百万円)

区 分	平成22年9月末	平成22年3月末	増 減
破綻先債権	179	201	△ 22
延滞債権	579	725	△ 146
3カ月以上延滞債権	-	-	-
貸出条件緩和債権	-	-	-
合 計	759	927	△ 168

(注)

- 平成22年9月末の計数は、次の方法により算出しています。
 - 各債権区分額は、平成22年3月末時点の債権額を基準として、平成22年9月末時点の残高に修正しています。
 - 平成22年3月末から9月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、9月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。
- 貸出金について「農業協同組合法施行規則」に定める区分に準じて開示しています。

(2) 金融再生法開示債権

(単位：百万円)

債 権 区 分	平成22年9月末	平成22年3月末	増 減
破産更正債権およびこれらに準ずる債権	700	850	△ 150
危険債権	59	77	△ 17
要管理債権	-	-	-
小 計	759	927	△ 168
正常債権	57,889	56,424	1,464
合 計	58,648	57,352	1,296

(注)

- 平成22年9月末の計数は、次の方法により算出しています。
 - 各債権区分額は、平成22年3月末時点の債権額を基準として、平成22年9月末時点の残高に修正しています。
 - 平成22年3月末から9月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、9月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。
- 貸出金及び貸出金に準ずる債権（債務保証見返、貸出金に準ずる仮払金、未収利息）の総与信について「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」に定める区分に準じて開示しています。

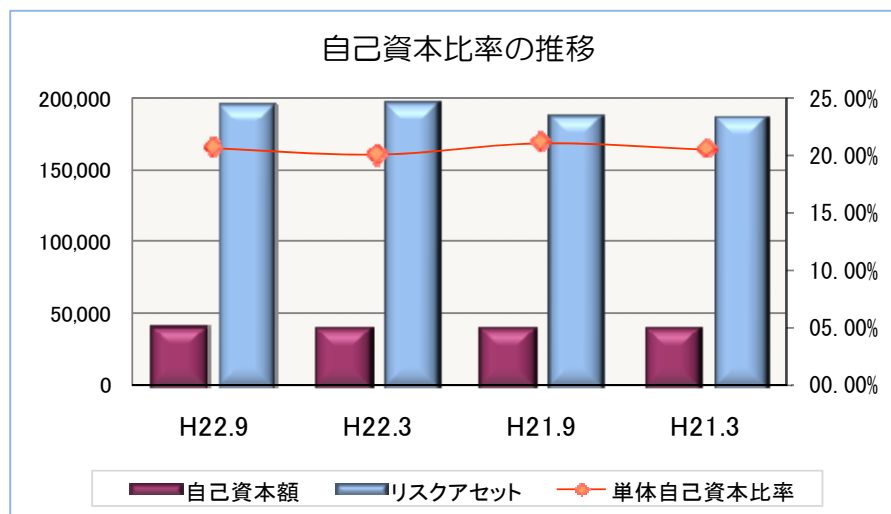
単体自己資本比率

(単位：百万円)

	平成22年9月末	平成22年3月末	平成21年9月末
基本的項目	39,516	38,391	38,559
補完的項目	1,222	1,225	1,171
控除項目	311	199	171
自己資本額	40,428	39,418	39,559
資産(オ・バ`ランス項目)	187,557	187,855	179,181
オ・バ`ランス取引等項目	1,826	1,998	1,992
オ`リスク相当額÷8%	6,292	6,292	6,186
リスク・アセット計	195,676	196,146	187,360
T i r e 1 比率	20.19%	19.57%	20.58%
自己資本比率	20.66%	20.09%	21.11%

(注)

- 金融庁・農林水産省告示第2号農業協同組合等がその健全性を判断するための基準に基づき算出しております。なお、当会は国内基準を採用しています。
- 当会は、信用リスク・アセット額の算出にあたっては標準的手法、適格金融資産担保の適用については信用リスク削減手法の簡便法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出にあたっては基礎的手法を採用しています。
基礎的手法とは、1年間の粗利益に0.15を乗じた額の直近3年間の平均値によりオペレーショナル・リスク相当額を算出する方法です。なお、1年間の粗利益は、経常利益から国債等債権売却益・償還益及びその他経常収益を控除し、役務取引等費用、国債等債権売却損・償還損・償却、経費、その他経常費用及び金銭の信託運用見合い費用を加算して算出しています。
- 9月末基準での自己資本額には、外部流出予定額は控除しておりません。またオペレーショナル・リスク相当額については、中間決算を行っていないため前年度末の計数を使用しております。

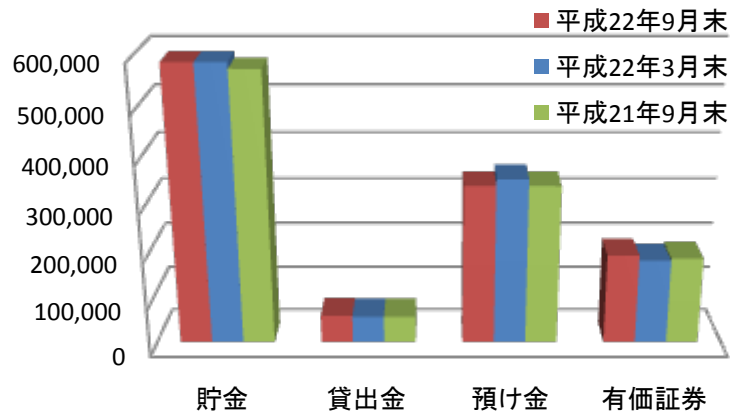


主要勘定の状況

(単位：百万円)

	平成22年9月末	平成22年3月末	平成21年9月末
貯金	585,412	585,292	572,192
貸出金	58,068	56,777	56,200
預け金	337,350	351,588	337,205
有価証券	190,656	179,746	183,923

注 貯金には譲渡性貯金が含まれています。



有価証券時価情報

【有価証券】

(単位：百万円)

区分	平成22年9月末			平成22年3月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有	20,699	21,155	455	18,699	19,066	366
その他	166,237	169,956	3,718	157,773	161,046	3,272
合計	186,937	191,112	4,174	176,473	180,113	3,639

注 9月末の有価証券の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

取得価格は、売買目的有価証券については取得価額を、満期保有目的有価証券またはその他有価証券については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。



JAバンク福井県信連